

1
東広島市議会議長
石原 賢治 様



2022年 2月 7日

請願団体

全日本年金者組合東広島支部 支部長

住所

紹介議員

氏 名

谷 晴美

高齢者のための東広島市補聴器購入費用助成制度の実施と 国に保険適用を求める請願書

【請願趣旨】

日頃より市民生活向上と福祉増進にご尽力されていることに敬意を表します。

さて、加齢性難聴は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難とするなど生活の質を落とす大きな原因になるばかりか、最近では認知症やうつ病になる傾向が強いと専門家も指摘しています。こうした中で、聞こえの悪さを補完し、音や言葉を聞き取りやすくするのが補聴器です。

日本の難聴者率は、欧米と比較して大差はないと言われていますが、補聴器の使用率は、欧米諸国と比べると極めて低く、日本補聴器工業会の調査報告でもイギリスの47.6%に対して我が国は14.4%と極端に低い数値となっています。この背景には、日本において補聴器の価格が片耳当たりおおむね15～30万円と高額で、しかも保険適用がないため全額自己負担となっていることがあります。身体障害者である高度・重度難聴の場合は補装具支給制度により負担が軽減され、中等度以下の場合は購入後に医療費控除を受けられるものの、その対象者はわずかで、約9割の人は自費で購入しています。これでは特に低所得者の年金暮らしの高齢者に対する配慮が欠けていると言わざるを得ません。

補聴器購入に対する公的補助制度が欧米ではすでに確立していますが、日本では一部の自治体で加齢性難聴の補聴器購入助成を行っているのみです。耳が聞こえにくい、聞こえないということが、高齢者の社会参加・再雇用などの大きな障害となっています。補聴器の使用が、高齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかにすごし、認知症の予防、健康寿命の延長、医療費の抑制にもつながると考えられます。

貴議会におかれましては以上の趣旨をご理解いただき、加齢性難聴者への補聴器購入に対する東広島市補聴器購入費用助成制度の実施と、補聴器購入について保険適用をするよう国に働きかけてくださるようお願いいたします。

【請願事項】

- 1 高齢者のための東広島市補聴器購入費用助成制度を実施してください。
- 2 補聴器着用について保険適用をするよう国に働きかけてください。